

9. 実務経験年数	満 年 カ月	※ 満 年 カ月
10. 主として従事した業務 (○で囲んで下さい)	現場管理、技術管理、調査・計測・試験、同結果の評価・考察、柱状図及び断面図の作成、報告書の作成、報告書の照査 その他 ()	
11. 地質調査技士登録番号	第 号 (当初登録年月日(西暦) 年 月 日)	

※「12. 地質調査技士 登録番号」欄は、今回受験する部門とは異なる部門の地質調査技士資格を保有されている方、または過去に資格を取得し失効された方をご記入ください。

本願書の勤務経歴、実務経歴等については事実と相違ないことを証明します。

〔承認機関〕 住 所
 電 話
 名 称
 代表者氏名 ⑩

〔承認機関〕 住 所
 電 話
 名 称
 代表者氏名 ⑩

〔承認機関〕 住 所
 電 話
 名 称
 代表者氏名 ⑩

令和3年度 地質調査技士資格検定試験

「土壌・地下水汚染部門」

受験写真票

受験番号	※	受験地	
ふりがな 氏名			男・女
生年月日(和暦)	年	月	日生 試験日で 才

写真貼付
撮影日 2021年 月 日

※確認覧

〔受験願書記載例〕

****年度 地質調査技士資格検定試験 受験願書

注：受験地は、願書受理後、変更できません。慎重に選択・記入して下さい。

「土壌・地下水汚染部門」

受験地	札幌	地区協会 理事長印	※	受験 番号	※土壌・地下水汚染部門
<p>私は地質調査技士資格検定試験を受験いたしたく地質調査技士資格検定試験規程第6条に基づき写真及び関係書類を添えて申し込みます。</p> <p>****年 5月 6日</p> <p>氏名 廣井 勇美 廣井</p> <p>一般社団法人 全国地質調査業協会連合会 殿</p>					
1.氏名	ふりがな ひろい いさみ 廣井 勇美	男 <input checked="" type="radio"/> 女	年令	試験日で 35才	<input checked="" type="radio"/> 昭和 61年 4月 20日生 平成
2.現住所 および 電話番号	<p>(〒 047 - 9999) 北海道 小樽市</p> <p>色内 1-11-100 ニキギンパレス 101</p> <p>電話番号 1: (06) 1234 - 5678 ※電話番号1・2とも必ず記入して下さい</p> <p>電話番号 2 (本人以外): (090) 1111 - 2222 (夫)</p>				
3.所属機関 (現在所属している会社について記入して下さい)					
名称	北海道調査株式会社			登録 番号	(地質調査業者登録をしている場合) 質 22-1234
住所	(〒060-0000) 北海道札幌市中央区北3条北西6丁目			電話	(011)231-0000
4.学歴					
最終 学歴	学校名 学部 学科名等	札幌農工大学 土木部 土木工学科			卒業年月 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 21年 3月 卒
※最終学歴が大学院、または、学校教育法における学校(中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校)以外の場合、最終学歴の一つ前の学歴も記入して下さい。					卒業年月 (西暦) 年 月 卒
5. 受験料振込		<p>振込手続日 4月 27日</p> <p>振込依頼人名 (受験者名と異なる場合、記入して下さい)</p> <p>複数名分をまとめて振込んだ場合、該当する受験者名を次に記入して下さい。</p> <p>(受験者名: 門建一郎、管理吾郎、花咲太郎 3名)</p>			

- ・受験の手引き(2ページ～)をよく確認の上、記入して下さい(※印欄は記入しないこと)。
- ・卒業年月や勤務経歴などの暦の記入は、各項目で指定する和暦または西暦に従い記入して下さい。
- ・受験願書類はクリップで留めた上、提出して下さい。

※和暦の簡易表示：昭和-S、平成-H、令和-R

6. 勤務経歴		
期 間 (和暦)	勤務先名 (部課名まで記入して下さい)	業 務 の 内 容
H21年 4月 1日から H27年 11月 30日まで	積丹地質調査株式会社 技術部	現場管理・技術管理他
H27年 12月 1日から 年 月 日まで	北海道調査株式会社 地盤技術部	現場管理・技術管理他
年 月 日から 年 月 日まで		
年 月 日から 年 月 日まで		
年 月 日から 年 月 日まで		

7. 講習会 (研修) 受講調べ		
受 講 期 間 (和暦)	講習会名称・受講場所	修了書番号
R3年 6月 15日から 1日間	検定試験事前講習会 苗穂会館	受講予定
年 月 日から 日間		
年 月 日から 日間		
年 月 日から 日間		
年 月 日から 日間		

注：受講調べに記入する講習会は、受験の手引きに記載する対象講習会のみです。

8. 実務経歴			
調査期間(和暦)	○囲み	発注者(上段)及び調査名(下段)	所属機関名(会社名)
H21年 5月 から 40日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	北海道防衛部 北海道小演習場道路地質調査	積丹地質調査(株)
H22年 7月 から 30日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	国土交通省 留萌開発建設課 天塩川下流 水辺環境汚染地質調査	同上
H23年 9月 から 20日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	北海道 建設局 函館中茅部線路面下空洞調査	同上
H24年 10月 から 40日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	JR 北海レール 新札幌耐震補強工事	
H25年 12月 から 30日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	北海道 環境生活局 サロベツ原野土壌汚	
H26年 2月 から 30日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	旭川市 地域振興局 空港保安用地周回道路	
H27年 4月 から 25日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	国土交通省 室蘭開発建設課 伊達地区営農計画地質調査	北海道調査(株)

注：実務経歴 記入のポイント
 ・年4～5件を目安に記入。
 ・なお、勤務期間が長く、経歴が多い場合は、比較的最近の年次の経歴は2～3件/年程度、それ以前の年次は最低でも1件/年は記入。
 ※記入件数が少ない場合、申告の経験年数を減らすなどの措置をとり、受験資格の有無等を判断します。

H28年 6月 から 40日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	北海道防衛庁 奥尻通信施設新設地質調査	北海道調査(株)
H29年 8月 から 50日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	(某自動車メーカー) 苫小牧市内社有地土壌汚染調査	同上
H29年 11月 から 10日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	国土交通省 小樽開発建設局 大樽築港耐震岸壁地質調査	同上
H30年 1月 から 50日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	国土交通省 網走開発建設課 サロマル湖漁港整備地質調査	同上
H30年 2月 から 20日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	青森県環境衛生部 廃棄物最終処分場環	同上
H30年 4月 から 20日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	東川総合開発工事事務局 森山ダム建設工事(掘削残土や河川水の試料採取、汚染分析等を実施)	同上
H30年 7月 から 20日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	伊東組工務店 札幌駅前 ビル建設に伴う土壌・地下水汚染調査	同上
H31年 4月 から 25日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	国土交通省 旭川河川事務局 忠辺津ダム水辺土壌汚染調査	同上
R1年 7月 から 30日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	北海電力株式会社 とまりん原子力発電所3号機増設に伴う地質調査	同上
R1年 9月 から 50日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	国土交通省 弟子屈道路事務局 国道240号 飽別土壌環境調査業務	同上
R1年 11月 から 10日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	北海道 環境生活局 阿寒摩周線道路地質調査	同上
R1年 12月 から 12日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	北海道 防衛部 滝川隊舎土壌汚染調査	同上
R2年 2月 から 70日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	ジョグメク(株) 小牧東部石油備蓄基地土壌汚染調査	同上
R2年 7月 から 20日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	ネクスコ北東日本 北海道支社 後志自動車道 小樽ジャンクション地質調査	同上
R2年 8月 から 20日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	帯広防衛支局 鹿追宿所土壌地下水調査	同上
R2年 10月 から 20日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	四井不動産建設株式会社 札幌市内 土壌ガス調査	同上
R2年 12月 から 50日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	全国電信電話施設株式会社 8号幹線鉄塔地質調査(その3)	同上
R3年 4月 から 20日間	調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成	旭川市 土木局 雨粉小橋拡幅に伴う地質調査業務	同上

注：件名が工事名や設計名の場合、実施した地質調査業務の内容を、以下を参考にして書き加えてください。

注：実務経験年数は、土質試験室やサウンディングの実務経験期間は除いて記入します。その他、受験手引き（6 ページ⑬）を参照ください。

9. 実務経験年数	満 12 年 1 ヵ月	満 年 ヵ月
10. 主として従事した業務 (○で囲んで下さい)	(現場管理)、(技術管理)、(調査・計測・試験)、(同結果の評価・考察)、柱状図及び断面図の作成、(報告書の作成)、報告書の照査 その他 (
11. 地質調査技士登録番号	第 号 (当初登録年月日(西暦) 年 月 日)	

注：地質調査技士の資格を保有されている方（今回受験する以外の部門を保有の方）は、登録番号を記入してください。

本願書の勤務経歴、実務経歴等については事実と相違ないことを証明します。

〔承認機関〕 住 所 北海道積丹郡積丹町美国町船濶 00 番地
 電 話 0135-44-0000
 名 称 積丹地質調査株式会社
 代表者氏名 代 表 待 山 千 晴



〔承認機関〕 住 所 北海道札幌市中央区北 3 条北西 6 丁目
 電 話 011-231-0000
 名 称 北海道調査株式会社
 代表者氏名 社 長 須々木 孝 子



〔承認機関〕 住 所
 電 話
 名 称
 代表者氏名



次に該当する方は、受験手引き（7 ページ⑮）を確認の上、証明印を取りつけて下さい。

- ・受験者本人が組織等の代表の場合
- ・転職等により複数の機関に所属されていた方の場合

令和3年度地質調査技士資格検定試験

「土壌・地下水汚染部門」

受験写真票

受験番号	※	受験地	札幌
ふりがな 氏名	ひろい いさみ 廣井 勇美		男 <input checked="" type="radio"/> 女
生年月日(和暦)	昭和61年 4月 20日生		試験日で 35才

